

海洋ごみ問題解決のための世界プラスチック業界団体による宣言

プラスチック材料は、エネルギーや資源の節約、消費者保護、健康管理を向上させるとか食品の腐敗を減らすとか或いは生活の質を向上させる技術革新など、非常に大きな社会的便益を提供している。社会がプラスチックが提供できる便益を受けるためには、海洋の生態系を含め、私たちの自然環境がごみによって脅かされることないようにそれらを回収することが不可欠である。

海洋科学者による調査は、捨てられたプラスチックやその他の材料が、どの位最終的に海洋でごみとなってしまい海洋環境へのどの程度影響するのかに注目している。下記の業界団体はプラスチックが世界の海洋に入り込んではいけない事、そしてそこでごみになってはいけないという原則をしっかりとコミットしている。即ち、プラスチックは責任をもって、使用、再使用、リサイクルされ、最後にはその持っているエネルギーが回収されるべきである。

プラスチックは、貧弱で不十分な廃棄物管理、不十分なりサイクル／エネルギー回収システム、陸上や海上へごみとして捨ててしまうような悪い習慣の結果、海洋環境のごみになってしまう。これらは、社会や経済の問題に関連する大規模かつ複雑な問題であり、いかなる組織や、業界、或いは政府が単独で解決出来る事ではない。個々の地域での作業を基に、署名団体は海洋ごみを防ぐために、政府、NGO、研究者や他のステークホルダーと共同で活動しようとしている。

私たちは、:

1. 海洋ごみを防止することを目的として官民協力して活動することにより解決へ貢献する。
2. 海洋ごみに対してよりよく理解し、その範囲、起源と影響、解決策などを評価するため、科学界及び研究者と協力して活動する。
3. 海洋ごみを防ぐため、包括的な科学的根拠に基づく政策や既存の法律の施行を推進する。
4. 特に海や河川と接する地域や国において、エコ効率的な廃棄物管理システムや処理に関する知識の普及を支援する。
5. リサイクルやエネルギー回収のため、より多くのプラスチック製品を回収する。
6. 製品の漏出を防ぐために、供給者から顧客へのプラスチックレジンペレットや製品の輸送や配送の管理をする。又、顧客が同じように管理してくれるよう促す。

これらの努力が成功するためには、幅広いステークホルダーの間で持続した誠意をもった協力が必要になる。我々は我々の役割を果たすとともに、私たちと一緒に行動してくれるよう他の組織にも声をかける。

さらに詳しい情報については、下記の URL を参照のこと。

<http://www.marinedebrissolutions.org/global>

注：本文は、便宜のために日本プラスチック工業連盟で仮に翻訳したものです。原文を参照ください。